

埼玉県・オハイオ州スカラシップ<語学・大学留学コース>

令和3年度派遣レポート 2月

「チュータリングと国際母語デー」

令和3年度奨学生 塚林光ジョナサン

チュータリングについて

私はチューターとして日本語専攻や日本語の講義を受講している学生のチュータリングを毎週数時間行っています。チューターは大学に雇われて、学生従業員として活動します。チューターに採用されるためにはレジユメの提出やオリエンテーションの受講が必要です。また学生がキャンパス内のカフェや売店、食堂で働く場合も、このチューターのようにトレーニングが必要となります。日本語チューターの場合は日本語講義への週一回での参加が義務付けられています。チュータリングは1コマ45分で、受講希望のある学生は最大週に2回受けることができます。さらに特定科目の講師から認可が得られれば週3回まで増やすことも出来ます。場所は主にアカデミックサポートセンターが所在するオールドメイン（キャンパス内最古の建物）の地下一階で行われますが、キャンパス内の公共スペースで行うことも可能です。難しい面もありますが、日本語を教えるという有意義な体験です。日本語の母語話者として無意識に使う文法や語彙が多く、説明に際して多くのことが気付かされます。



一般的なチュータリング環境

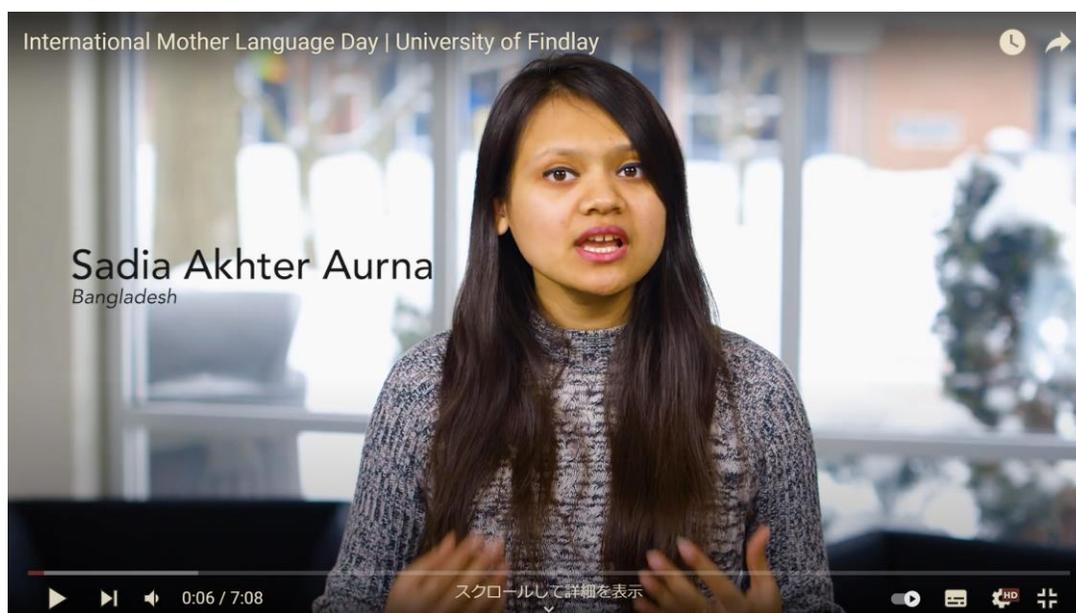
国際母語デーについて

フィンドレー大学では国際母語デーを記念するイベントが毎年2月21日に行われています。国際母語デーとは、言語文化の多様性、マルチリンガリズム（多言語の使用）、そしてあらゆる母語の尊重の推進を目的として、ユネスコが制定した、国際デーのひとつです。国際母語デーの設立は1950年代のバングラデシュにおけるベンガル語を公用語にするための運動に由来していることから、フィンドレー大学で行われたイベントもバングラデシュ出身の学生が多く関わりました。

イベントの内容は、それぞれの学生が自分の母語で詩や歌を披露、また歌に合わせて踊りなどを披露しました。私は司会の一人として参加し、他の日本人留学生も歌や俳句などを披露しました。このようなパフォーマンスを通して、言語と文化が切っても切り離せないものであり、母語を守る重要性を改めて理解することが出来ました。

私は大学内のイベントのみならず、一般に向けた国際母語デーを推進するイベントにも参加する機会を頂き、フィンドレー市の図書館でも日本語や日本文化についての紹介などを行いました。

下記のリンクは昨年2021年度の国際母語デーのためにフィンドレー大学が作成した動画です。



<https://www.youtube.com/watch?v=w-ob7WdntZ8>

埼玉県・オハイオ州スカラシップ派遣プログラムにご興味のある方や、フィンドレー
大学について詳しく知りたい方は tsukabayashih@findlay.edu にお気軽にご連絡くださ
い。留学や現地の生活についての悩みや不安を解消できればと思います。